

	委員名	章	政策	施策	取組 PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
1	鈴木委員	全般				①都市計画に関わるような取組が出てこないように思った。 ②総合計画に都市整備方針が冒頭に出てくるが、それは触れず全体を通してやっていくということなのか、地域全体のけん引をしていくんだということになると、色々な課題はあると思うが、今回は盛り込まないという判断をされたのか？	①P19	①第4章3に反映済み
2	谷崎委員	全般				①外国人の視点がないのではないかと。定住されている外国人や熊本を訪れた外国人の視点を追記した方がよい。どこかに外国人の方に配慮した書きぶりを入れてほしい。	①P36	①→第5章(1)に反映
3	後藤委員	全般				①復興重要プロジェクトについて、市民病院や熊本城にも検討会や懇話会があるが、そことの関係性を説明してほしい。ヒエラルキー・上下関係はないのか。	①-	①→事務局から説明済み
4	後藤委員	全般				①震災によって格差が広がらないようにすることが大事。 ②経済的格差などの記載はないか。	①- ②-	①②→事務局から説明済み
5	菅野委員	第3章				①P7復興重点PJあたりに、PTを置き、様々な部署と連携しながら取り組むという位置付けを明確に書かれた方がいいのではないかと。 ②東北で復興関連のPJ等が放置されるような結果が見受けられた。“その他”扱いになってしまうことが十分考えられるため、是非全庁体制で臨んでいくことを書いて頂くといい。	①②P7	①②→第3章に反映
6	小林委員	第3章				①復興重点PJ毎に進度に差があり、すっきりしない。 ②「政令指定都市～まちづくり」とあるより、「74万市民が総力～復興へ」をサブタイトルにしたほうがインパクトがあり、その後の構成がわかりやすく感じる。	①- ②P7	①- ②第3章に反映
7	菅野委員	第3章			PJ①	①通常の福祉のメニュー等と連携しながら進めていくと思われるため、平時の事業（介護保険制度など）との連動のさせ方についても盛り込んでいいのではないかと。	①P14	①第4章1-(1)-①に反映
8	小林委員	第3章			PJ①	①応急仮設住宅入居者に対する見守りや相談体制の支援も重要だが、分断されたコミュニティが集まれる機会や集まれる施設を作り、昔のコミュニティが結束できるような場作りも必要。 ②そういった場が仮設にあれば、分断されたコミュニティが繋ぎとめられるため、そういった意味の記載を盛り込んでほしい。 ③新しいコミュニティ内での親睦を図る目的と、仮設に入る前にあったコミュニティを復活させる場作りの両方必要。	①②③P8、15	①②③→第3章-①、第4章1-(2)-①に反映
9	中山委員	第3章			PJ①	①今の仮設住宅には集会所等が併設されるため、コミュニティ形成の取組を行いやすい環境。明記により、コミュニケーションの円滑化や共助の精神の育みが期待できる。	①P8、P15	①→第3章-①、第4章1-(2)-①に反映

	委員名	章	政策	施策	取組PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
10	後藤委員	第3章			PJ②	<p>①既存センターでは周産期母子医療は行っているが、小児救急医療は全くやっていない状況。「子どもの命を守る」とあるが、そこまで踏み込むのか。「子どもの命を守る」をつけなくてもいいのでは。</p> <p>②市民HPの再建が市民全体の復興のシンボルというのが医療者としてピンとこない。元々市民病院は市民全体からみてシンボルだったのか。PJの2番目にくる程なのか。</p> <p>③医療圏全体の現場の意見をもう少し反映させてはどうか。</p> <p>④公的病院長が参加する市民病院懇話会が他にあり、果たして地域の意見が反映されているのか。現場からすると違和感がある。</p> <p>⑤災害に強いHPはどういう意味なのか。</p> <p>⑥今をどうするかというのも大きな問題。培ったノウハウ・スキル等が今のままでは分散してしまう。積極的に関って欲しい。医療というのは繋がっておかないと復興はできない。</p> <p>⑦是非県ともコンタクトをとって欲しい。</p> <p>⑧あえて復興PJではなく再建PJにしたのか。</p>	<p>①P9</p> <p>②-</p> <p>③-</p> <p>④-</p> <p>⑤-</p> <p>⑥-</p> <p>⑦-</p> <p>⑧-</p>	<p>①→第3章②で反映</p> <p>②-</p> <p>③→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p> <p>④→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p> <p>⑤→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p> <p>⑥→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p> <p>⑦-</p> <p>⑧-</p> <p>⑨-</p> <p>⑩-</p> <p>⑪-</p> <p>⑫-</p> <p>⑬-</p>
11	中山委員	第3章			PJ②	<p>⑨これまで市民の命を守ってきたノウハウの蓄積があると思うので、ここで断ち切るのは市民側からすると残念。ぜひ再建してほしい。</p> <p>⑩熊本市が日本や世界で誇れるものの1番に医療があると思う。その中に市民病院もあって、復興PJの1つのPR看板になるのではないのか。</p>	<p>⑨-</p> <p>⑩-</p>	
12	後藤委員	第3章			PJ②	<p>⑪市民HPも委員長が言われるものの中に入れてきて欲しい。医療関係者はそう思っているのかどうか。</p> <p>⑫熊本は素晴らしい医療環境を持っているからこそ地域と連携を取ってほしい。再建PJに関わらせて方がいい。</p> <p>⑬市民HPの再建についても、市民HPの職員のみには任せられないと思う。</p>	<p>⑪-</p> <p>⑫-</p> <p>⑬-</p>	
13	鈴木委員	第3章			PJ②	<p>①事前資料のリーディングPJは若干違和感があったが、今回修正案は復興重点PJとなっており、単体としての焦点化を意識されたようだ。</p> <p>②ただの再建よりも、機能的な再編を込みで議論していく、そこに市民病院が位置付くようなことがあっていい。その議論が伴わないと実感がでないと感じている。</p> <p>③黒点1と2は現状について書いてあり、他と書きぶりが異なるため、工夫が必要。</p>	<p>①-</p> <p>②-</p> <p>③P9</p>	<p>①-</p> <p>②-</p> <p>③→第3章②に反映</p>
14	後藤委員	第3章			PJ②	<p>①鈴木先生が言われたとおり。本格的な意味は薄めて欲しい。市民病院の正しい位置付けをお願いしたい。</p>	<p>①-</p>	<p>①→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p>
15	中山委員	第3章			PJ②	<p>①熊本の医療の中において、市民病院の役割とは何か、そういう位置付けで検討をお願いしたい。</p>	<p>①-</p>	<p>①→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p>
16	松田委員	第3章			PJ②	<p>①子どもだけではなく、災害弱者の受け入れというのも市民病院としてふさわしいと思う。</p> <p>②防災を考えるとヘリポート、ヘリコプターの発着についても検討いただきたい。</p>	<p>①-</p> <p>②-</p>	<p>①→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p> <p>②→懇話会の意見を踏まえて今後検討</p>

	委員名	章	政策	施策	取組PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
17	竹内委員	第3章			PJ②	①市立病院と民間病院の違いの整理が必要な面はある。 ②病院再建を従前と同様の機能をフルでリカバリするのがいいのか、或いは創造的復興の観点から、地域性や機能面で新たな発想で取り組んでいくのかを検討するののも一つのアイデア。後者であれば、熊本モデルとして、全国に発信されるべき目玉の1つとなる印象を持った。	① - ② -	①→懇話会の意見を踏まえて今後検討 ②→懇話会の意見を踏まえて今後検討
18	小林委員	第3章			PJ③	①「国内外からの多くの観光客が訪れる重要な観光資源」とあるが、海外に向けて具体的にどう発信・アピールしていくかという要素が含まれていないので入れた方がいい。	① -	①→H29年度策定予定の(仮)熊本城復旧基本計画の中で検討
19	鈴木委員	第3章			PJ③	①熊本城の復興再建は誰もが目指すところの課題。 ②ただし、街や観光のシンボルと同時に熊本の復興のシンボルになるためには、身近な所の復興とリンクしていくことが必要ではないか。あまりにも熊本城に焦点化しすぎることに對してどう考えるか。 ③例えば、各区の街並み等被災した部分の復興と繋がって初めて熊本城の復興がシンボル化するのではないか。	① - ② - ③P31	①②→事務局から説明済み ③→第4章4-(3)-①に反映
20	中山委員	第3章			PJ③	①目標別施策の新町・古町の部分で、熊本城の復興と一緒に推進する、熊本城の復興をシンボルとして行うなどの書き方をどうするか。	①P31	①→第4章4-(3)-①に反映
21	谷崎委員	第3章			PJ④	①バイオ・ヘルスケアの部分は緊急提言でも提案させて頂いたもの。 ②バイオ・ヘルスケアとP21の②の記載との整合をどうとられるのか。	①② -	①②→事務局から説明済み
22	井上委員	第3章			PJ④	①日本一のみかん産地を目指すにあたって、ほぼ園地整備も出来ているが、労働力の確保が課題。労働力の確保を目指し、作業員を増やすことに繋がれば、産地も助かる。 ②国内外における物産展への出展はコストも上がるので一番いいのは地産地消。地元での消費を目指して推進していくと更なる農業の復興に繋がる。	① - ② -	① - ② -
23	竹内委員	第3章			PJ④	①Ⅲ章については、他のPJと異なる性質を帯びている。つまり、地震の有無に関らず、従来から計画していた目標や課題は不変というトーンであり、それはそれで正しい。 ②その意味で、熊本市が従来から考えてきたことを、逆風下でも着実に推進していくトーンをきちんと打ち出すべきだ。 ③ただ付け加えるなら、例えば市民会館は被災してなければ、MICEとも並存の状態に進んだと思われるが、創造的復興という意味において、市民会館が被災したという新たな事実を前提に再考する余地があるのであれば、その旨記載すればよいのでは。従来どおり市民会館はそのまま修繕して復興し、あくまでもMICEとは並存させていくのであれば、それはそれで結構だと思う。	①②③ -	①②③ -
24	中山委員	第3章			PJ④	①もう一步前進して、熊本市が発展する姿、震災前よりもっと良くなったというトーンがあるといい。 ②出すとすればPJ④。若者が集積するような市になるためには何をすればいいのかという視点があればいい。	①②P11	①②→第3章④に反映済み

	委員名	章	政策	施策	取組PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
25	竹内委員	第3章			PJ④	①私がお伝えしたいことは、委員長が要約して下さったとおり。	①P11	①→第3章④に反映済み
26	谷崎委員	第3章			PJ④	①今回2行目で“防災機能の向上を図る”ということが、被災後に加わった大事な要素だと思う。 ②駅前と花畑のにぎわいの回遊性についての書きぶりは、総合計画でも明確には書いてなかったと思われるため、具体性がでてくると、にぎわいの一体性でも新しい展開を示すものだと思う。 ③若者も含めた一体的な賑わいに繋がるといった記述の書き加えがあれば、被災後の新味が出てくるのではないかと。	① - ② - ③P11	① - ② - ③→第3章④に反映済み
27	松下委員	第3章			PJ⑤	①次世代へつなぐというのは大事。 ②地震のメカニズムなど、地面の下がどのようになっているか基本的な部分の解明は行政の役割でもあり、安全・安心につながるので明記していただきたい。	① - ②P12	① - ②→第3章⑤に反映済み
28	菅野委員	第3章			PJ⑤	①東日本大震災での課題としては、アーカイビング機能が散逸してしまったこと。 ②アーカイブは各自治体でバラバラに行わず、集約した形で施設など拠点となる場所が必要。 ③集約した施設や場所など、一体化した拠点を構想すること、集約できる場所が必要。コーナー設置では不十分と思われる。	①②③P12	①②③④→第3章⑤に反映
29	坂本委員	第3章			PJ⑤	①子どもたちも貴重な体験をしたと思うが、子ども達の心の傷はまだ続いている。 ②子どもの防災教育は現場の声を聞き、子どもの発達段階や地域に配慮していただきたい。	①②P36	①②→第5章(1)に反映
30	竹内委員	第3章			PJ⑤	①PJの内容に鑑みれば、写真を変えた方がいいのではないかと。例えば、夜中に避難している写真など。	①P12	①→第3章⑤に反映
31	相藤委員	第3章			PJ⑤	①子どもたちの発達段階に応じてはとても大事。 ②震災の記憶にも防災教育の大切さを入れて頂きたい。大人になった後も経験を活かした行動が取れるだろうし、体験から得た教訓はすごく大切なものだと思う。	① - ②P12、P23	① - ②第3章⑤、第4章3-(2)-①に反映済み
32	小林委員	第3章			PJ⑤	①復興の情報を発信するコーナーの設置は、常設のセンターが整備されるべきで、そこに情報が集約されることが重要だと思う。 ②教育や研究機関の研究成果などもそこに蓄積され、教育の実際の場にもなる。 ③復興や記録に関する施設は常設し、様々な媒体や情報を展示されると防災教育にも使えるし、それが多元化され、ハードだけではなくソフト面も提供できれば、観光施設にも繋がられる。	①②③P12	①②③→第3章⑤に反映
33	松田委員	第3章			PJ⑤	①記憶が熱いうちに、記録と記憶を生かした防災教育ソフトの製作に取り組んで欲しい。 ②今だからこそこの経験を他の地域の子供達に伝えることができる。 ③県と連携して震災復興ミュージアムの建設を検討してほしい。	①② - ③P12	①②→実施計画策定時に検討 ③→第3章⑤に反映
34	相藤委員	第4章	1	(1)		①「妊婦」と「妊産婦」が混在している。「妊産婦」に統一を。	①P5、14、17、24	①→全て「妊産婦」で統一

	委員名	章	政策	施策	取組 PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
35	菅野委員	第4章	2			①この政策だけが、ベーシックな部分がかかれていて、目標がよく分からない。第5章(1)と重複しており、位置づけがよく分からない。	① -	①→事務局から説明済み
36	菅野委員	第4章	2			①第4章2はもっと強調してもよい。	① -	① -
37	菅野委員	第4章	2	(3)		①行政、市民、地域が一緒に行うなど、行政が積極的に市民、地域と交わるような踏み込んだ表現が必要ではないか。	①P18	①→第4章2-(3)に反映済み
38	鈴木委員	第4章	3			①防災・減災のまちづくりの部分が、地震以外の風水害等他の災害時でも耐えられる計画となっているかの視点で確認が必要。	① -	① -
39	相藤委員	第4章	3			①今回物資は届いても、避難所間での連携がうまくいかなかった。 ②ボランティアコーディネーターも不足。 ③行政とボランティアコーディネーターがうまく機能できるような体制、組織づくりが必要。	①②③P24	①②③→第4章3-(3)-①
40	竹内委員	第4章	3			①政府からのPUSH型支援が成功例と言われているのに対して、受けて側の被災地側のキャパが不足していた印象がある。 ②今回の教訓を活かし、被災地は公務員OB・OG等を事前にリストアップして、緊急時には優先的に一時的再雇用して、受け手側の体制を充実させることが減災に繋がるのではないか。	①②P23	①②→第4章3-(2)-③に反映済み ※具体的な手段については実施計画策定時に検討
41	小林委員	第4章	3			①指定避難所以外の場所が避難所となり、防災のノウハウがないためパニックが生じた。 ②公助が入るまでの1週間、避難所において防災知識がない場合でも乗り切れるような、分かり易いマニュアルの整備が必要。 ③マニュアルを使用した防災教育を、子供大人達も含めて行うことがいいのでは。	①②P24 ③ -	①②→第4章3-(3)-①に反映 ③→実施計画策定時に検討
42	井上委員	第4章	3			①避難所近隣の企業と連携を図りながら、物資の受入や配送等の体制づくりが必要。	①P23	①→第4章3-(2)-③に反映済み
43	相藤委員	第4章	3			①企業や福祉施設などでそれぞれに作成されているマニュアルを行政が収集・把握し、熊本版のマニュアルを作成してはどうか。他県にも発信できればよい。 ②在宅の高齢者について、きめ細やかな安否確認を迅速に行うにあたって、核になるのは地域。自治活動の強化や拠点の整備が必要ではないか。	①P24 ②P17	①→第4章3-(3)-①に反映 ②→第4章2-(1)-①に反映済み
44	松田委員	第4章	3	(1)	①	①公共施設等の耐震度に応じた被害がどの程度あるか、震災によるインフラ被害等のデータを収集整理することが必要。今後の維持管理・対応等を効率的に実施することができる。	① -	①→実施計画策定時に検討
45	谷崎委員	第4章	3	(1)	②	①今回色々な施設について、この施設がこの場所の配置でいいのかという問題に気付かされた。 ②「施設等の総合的なあり方について検討を行う」を「施設等の配置や総合的なあり方について検討を行う」としてほしい。	①②P22	①②→第4章3-(1)-②に反映

	委員名	章	政策	施策	取組 PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
46	坂本委員	第4章	3	(2)	③	①マニュアルを作るにあたっては、平常時からの地域と行政の連携強化とあるように、地域による特色も考慮し、区や地域で意見をまとめていったほうがよいと思う。	①P24	①第4章3-(3)-①に反映済み
47	菅野委員	第4章	3	(3)		①福祉避難所の拡充と書かれているが、合理的配慮といった視点から、通常の避難所でも一定の配慮をする旨記載がいるのではないか。	①P24	①→第4章3-(3)に反映
48	後藤委員	第4章	3	(3)		①福祉避難所ではなく一般的な避難所ということか。医療格差が震災により顕著になるので、それに対応することは必要ではないか。	①-	①-
49	菅野委員	第4章	3	(3)		①福祉避難所が不要という意味ではなく、一度一般的な避難所で受け止めながらどうやるべきかを考えるという意味。	①-	①-
50	谷崎委員	第4章	4			①「営業・操業停止による間接被害」を「被災した取引事業所の営業・操業停止による間接被害」にした方が分かり易いのではないか。	①P26	①→第4章4に反映
51	谷崎委員	第4章	4	(1)	③	①「産業人材の育成を促進」は4年間で可能なのか。短期間での対応で育成まで追いつかないのであれば、産業人材の招聘を加味してはどうか。	①②-	①②→事務局から説明済み
52	菅野委員	第4章	4	(1)	③	①高度な人材もそうだが、雇用を失った被災者等の生活再建とつなげていくといいのではないか。 ②被災者・離職者等に対する就労支援（「被災者の生活再建に向けたトータルケアの推進」）との連動について記載してほしい。WIN-WINな関係を作って頂けるような書きぶりがよい。	①②P28	①②→第4章4-(1)-③に反映
53	谷崎委員	第4章	4	(1)	④	①「本社機能移転等、将来的に撤退の可能性が低い企業を優遇する」とはどういう意味か？	①-	①→事務局から説明済み
54	竹内委員	第4章	4	(1)	④	①「将来的に撤退の可能性が低い企業を優遇する」のところは、もっとポジティブな書き方にしてはどうか。	①P29	①→第4章4-(1)-④に反映
55	谷崎委員	第4章	4	(1)	④	①「地震がない」「水が豊か」が1つの謳い文句だったが、今回の地震でそれが崩れた。 ②企業立地の推進については、市として何らかの対応策がないと、他の地域との差別化の中では弱くなってしまふ。市の戦術を記載してほしい。	①②P29	①②→第4章4-(1)-④に反映
56	中山委員	第4章	4	(1)	④	①谷崎委員氏の今の意見については、新たな項目として追加して記載する必要がある。	①P29	①→第4章4-(1)-④に反映
57	鈴木委員	第4章	4	(3)	②	①「風評被害の払拭」のところは、「防災・減災のまちづくり」の方を積極的に訴えてはどうか。	①P31	①→第4章4-(3)-②に反映

	委員名	章	政策	施策	取組 PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
58	松下委員	第4章	4	(3)	②	①「二の丸広場の活用による集客イベントの開催」については、あまり人をたくさん呼んで踏み固めないようにとの意見があったと思うが、クリアしているのか？	① -	①→事務局から説明済み
59	小林委員	第4章	4	(3)	②	①W i - F i 整備や外国語表記の充実で外国人観光客の回復が図れるのではない。 ②正確な情報発信や安心・安全のアピールによって外国人観光客が回復し、その上でW i - F i 整備や外国語表記の充実がリピーターにつながるのではないか？書き方を整理する必要がある。	①②P31	①②→第4章4-(3)-②に反映
60	菅野委員	第4章	5			①東日本大震災における東北では、近隣自治体間で復興の取組に関する共有がなされていなかった。 ②近隣自治体間における復興の取組に関する共有についても記載するといいたいと思う。	①② -	① - ② - 実施計画策定時に検討
61	小林委員	第4章	5			①避難所のリーダー格や避難所にいた市の職員を集めたりアンケート調査を行うなどして、避難所等の状況をデータとしてまとめることで、熊本型の復興のあり方を発信していくことができるのではないか。 ②全体を俯瞰してみる機会を通して、早いうちに状況をまとめて残すことが必要。	①②P36	①②→第5章(1)に反映
62	中山委員	第4章	5			①益城町・西原町と連携して、熊本駅と空港の間のアクセスの改善も行えば、防災の観点からも重要なロードになってくると思われるので、触れていただきたい。	① -	①→事務局から説明済み
63	竹内委員	第4章	5	(2)	②	①熊本城および阿蘇地域という熊本の一級品の観光資源が被災した。このピンチを当座乗り切る観点から、他地域の観光資源を底上げする観点で業者とよく提携して、最終的には熊本市内に誘客するような戦略的文言がどこかに入れたいと思う。	①P31	①→第4章4-(3)-②に反映
64	後藤委員	第4章	5	(2)	④	①新聞報道では、総合周産期母子医療と救急医療を2本柱にするとあったが、正式な発表が出たら、救急医療についても追加するということがよいか。	① -	①→懇話会の意見を踏まえて今後検討
65	竹内委員	第5章		(1)		①最前線で働いた方のヒアリングを盛り込まれたら、幅広く市民の声を拾うとともに、実際に体験談や改善点の整理を行うことで、まさに市民・地域と行政の協働による推進につながる。	①P36	①→第5章(1)に反映
66	菅野委員	第5章		(1)		①男女共同参画の視点のみならず、合理的配慮等、他の視点も踏まえた今のトレンドに合う書きぶりがよい。	①P36	①→第5章(1)に反映

	委員名	章	政策	施策	取組 PJ	要約	ver.8 該当ページ	対応(案)
67	中山委員	第5章		(3)		①Checkを特にきちんとやっていただきたい。	① -	①→事務局から説明済み
68	相藤委員	第5章		(3)		①「実施計画による復旧・復興事業の確実な推進と評価」と直接入れてみてはどうか。 ②推進をしたら適切な評価が必要。一つ一つの積み重ねの評価で復興計画の体系が見え、評価ができると思う。	①② -	①② -
69	鈴木委員	第5章		(3)		①評価にあたっては、行政評価のレベルだけではなく、政策評価に関連するような工夫をしてほしい。	① -	① -